



1、東北高等学校ハンドボール選抜大会（1月5日、大仙市大曲体育館）

年明け、大曲体育館で、全国及び東北大会をかけた、秋田県の決勝大会が行われました。男子は、準優勝ということで、30日から始まる東北選抜大会で全国目指して頑張ります！

【男子トーナメント】 準優勝 準決勝 羽後－大農 35－16 決勝 羽後－湯沢 18－33	【女子トーナメント】 第3位 準決勝 羽後－湯沢 10－25
--	--

男女各キャプテンよりコメントを頂いております！

○男子ハンドボール	○女子ハンドボール
<p>僕たち男子ハンドボール部は1月5日に行われた決勝大会に出場してきました。1回戦の大農戦では自分たちのペースで試合運びができましたが、決勝の湯沢戦では相手のペースにのまれ、大差で負けてしまいました。</p> <p>全国選抜に出場するためには、東北選抜での負けは許されません。これまで以上に自分たちに厳しく、日々の練習に取り組んでいきます。</p> <p>たくさんの応援ありがとうございます。</p>	<p>私たちハンドボール部は決勝大会に出場してきました。自分たちの目標であった東北大会出場は叶えることはできませんでしたが、最後まで諦めないで戦うことが出来ました。</p> <p>来年度まで、公式戦がなく、目標が遠くなってしまいましたが、定期的にミーティングを行い、目標を見失わないようにしていきたいです。また、春までに体力をアップさせたり、自分たちの苦手を克服するために自分たちで考えて練習メニューを決めたりして、今のうちに色々なことにチャレンジして、春にはみんな自信をつけて、絶対リベンジできるように冬の練習を頑張っていきたいです。また学校生活や私生活にも気を遣って生活を送っていきたいです。応援ありがとうございました。</p>

○東北選抜大会 1月31日（金）～2月2日（日） 山形県東根市
 1 回 戦 1／31 13：45～ 羽後－北村山（山形）
 2 回 戦 2／1 13：30～
 代表決定戦 2／2 9：30～

2、アートマイル進捗状況

昨年から取り組んでいるアートマイルですが、12月上旬に日本の分が完成しました！その後、マレーシアに送付し、現在、マレーシアで残り半分の絵を制作中です。2月中には完成した作品が本校に戻ってきますので、楽しみにお待ちください。



羽後高校は右半分を制作



マレーシアに無事届きました！

3、ゆきとぴあ七曲フォーラム（1月24日、羽後中学校）

1月24日（金）、1・2年生の生徒会執行部と女子ハンドボール部、ボランティア部の合計15名で「ゆきとぴあ七曲フォーラム」に参加してきました。例年通り、今年も「雪」をテーマとした五行歌の歌会を実施しました。参加者の感想を紹介します。



*五行歌とは・・・テーマに合わせて自身の想いや考えなどを自由に五行でまとめた詩や歌。

ゆきとぴあフォーラムに参加し、五行歌を通して言葉の重みや大切さを改めて実感できました。たった五行でも情景が頭に浮かぶような五行歌ばかりでとても楽しかったです。昨年よりもさらに中学生のレベルが上がっていたように感じました。そんな中でもグループでの1位に選んでもらえ、いちごを頂けたこととても嬉しかったです。
(生徒会長)

私たち女子ハンドボール部は羽後中学校で開催されたゆきとぴあ七曲フォーラムに参加してきました。私自身、初めて五行歌というものを作り、考えることはすごく難しかったけど、中学生とたくさん交流したり、褒め合ったりしてすごく楽しい時間になりました。中学生と交流できる機会は多くはないので、参加できて良かったです。
(女子ハンドボール部)

羽後中学校の方々と五行歌を通して話し合ったり、感じ合ったり・・・様々な会話ができてとても良い機会になりました。普段、「雪」について考えたり感じたりする機会はなかなか無いので、新たな発見でもありました。今後もこのような機会があれば積極的に参加したいと思います。
(ボランティア部)

雪題材、心情自由に表現
五行歌の魅力堪能
羽後中でフォーラム

字数や季語などにこだわらず、心情を五行で表現する短詩「五行歌」の魅力に触れるフォーラムが24日、羽後町の羽後中学校で開かれた。同校の2年生123人のほか羽後高校の生徒や教員ら約20人も参加し、互いの作品を講評し合う「歌会」を楽しんだ。同町の冬のイベント「ゆきとぴあ七曲」（実行委員会主催）の一環。

参加者は事前に「雪」をテーマに五行歌を創作しており、

自身の作品を披露する生徒（右）

この日は1班7、8人の20班に分かれ互いの作品を点数で評価し、感想を述べ合った。各班の一席に選ばれた参加者は、全参加者の前で作品を読み上げた。事前に実行委が審査していた優秀賞8人が表彰された。このうち

五行歌創始者にちなんだ最高賞の草壁賞には、「冬の空見上げると／白い息の奥には／煌めく天狼／まるで寶石／雪のよう」（羽後高1年・黒澤莉奈さん）、「雪の降る日／地面も空もまっ白だ／動物や人の足あと／その足あとをみて／家へ帰る」（羽後中2年・高山尊花さん）、「帰り道／空からくる白いパンチ／右によけ、左によける／今の僕は／プロボクサー」（同・藤井悠さん）が選ばれた。
(森元季人)